



2学期が終了しました。今学期も様々な形で学校と地域と学校がつながる活動が行われました。そんな活動も含めて、本校のコミュニティースクールの様子をお伝えします。ご意見ご要望等がありましたら何でも結構ですので、学校までお知らせください。

### 地域の皆さまと共に、米沢小は来年創立150周年

米沢小学校PTA会長 樋口 恭一



地域の皆さまに支えられて、米沢小学校は来年創立150周年を迎えます。

♪ 蓼科山の 裾長く 空をいろどる美しさ  
昭和37年に制定された校歌には、生れの里、上川越えて野は広く、稲穂の波そよぐみのりの里、溢れる水よ大清水など、長い伝統の中でも変わることのない、私たちの住んでいる地域が歌詞に描かれ、今も児童に歌い継がれています。

卒業して30年以上経った今でも、地域の方と一緒に作って食べたよもぎだんごやどくだみ茶、登下校中にかけてもらった言葉などは、その方の姿とともに思い出され、記憶に残っています。今では、コミュニティースクールの名のもとに、地域の皆さまの協力による本の読み聞かせやふれあい教室（クラブ活動）、お米作りや果実の収穫体験などを、様々な制約の中でも工夫しながら行っています。

これからもぜひ、地域の小学校に通う子供たちに目を向けていただき、マスク越しでも構いませんので、人との関わりの素晴らしさや大切さを伝えていただければとてもうれしいです。  
来年、地域のみんで創立150周年をお祝いしましょう。

### 地域の皆様との関わりで子どもが育つ

米沢小学校教頭

岡庭 英貴



今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、来校いただくことを控える時期が続いています。感染警戒レベルが下がった時に、「遊びの日」をコミュニティースクール委員、民生児童委員の皆様に参加していただきました。「遊びの日」は全校児童が好きなブースへ行って集まった児童が35分間一緒に遊ぶことで異年齢の児童と交流しています。この遊びの日に地域の方と遊ぶブースが設置できたらと考えています。参観後に行った遊びの日にも参加していただき、子どもたちと関わっていただくことができました。感染状況を見ながら、声をかけて参りますので、ぜひ子どもたちと関わっていただければと思います。

先日、コミュニティースクールに関する研修会に参加させていただき、コミュニティースクールをうまく運営していくことは米沢小でもモットーにしている「できるときに、できる人が、できることを」だと教えていただきました。また、他校のコミュニティースクールの取り組みの事例として、休みの時間の児童の見守り、畑や田んぼの学習への協力、家庭科の裁縫の授業支援など、米沢小でも取り組んで行けたらいいなあと思う活動を教えていただきました。地域の皆様にお声がけさせていただきますので、できそうな活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

### 《学校・地域・家庭が連携して子どもたちの成長を応援しています》

コロナ禍の中ではありますが、十分な感染症予防対策や活動の工夫をしながら、2学期も学校・地域・家庭が連携した教育活動を行ってきました。これからもみんなで手と手を携えて進めて参りたいと思います。

#### 遊びの日



子どもたちが楽しみにしている「遊びの日」に地域の方にも参加していただきました。

#### やきいも会



CS委員の方に1・2年生のやきいも会のお手伝いをさせていただきました。

#### 縄文学習



縄文に詳しい地域の方に、子どもたちは縄文時代の魅力を学んでいます。

#### ぼっかぼかさん



読み聞かせボランティアの「ぼっかぼか」さんにお話をさせていただきました。